

開館時間が変わっています!!

先月から開館時間が変わっています。また、水・木曜日は休館日となっておりますので、お間違えのないようにお願いします。

開館時間 10:00~17:00

休館日 毎週 水曜日・木曜日

と 祝祭日

☆問い合わせ先

西栗倉村教育委員会 あわくら会館図書係まで

TEL 0868-79-2216

e-mail:n-kyouiku@vill.nishiwakura.lg.jp

「今月のテーマ ～雨～」

今年は空梅雨？と思わせるほど良い天気だったり、夕立のような土砂降りになったりと、おかしな梅雨が続いています。「雨ペー降ってうっとうしい」「ちーたー降りゃーエーのに」と勝手なことを人間は言いますが、降るときには降らないと困るのは人間だけではありませんよね。と言うわけで、今月は「雨」がテーマです。



『地下街の雨』

宮部みゆき／著 集英社



『あめのひのトランペット』

安房直子／作 金の星社



『あめのひのピクニック』

ガブリエル・バンサン／

作 ブックローン出版



今月の一押し

『パズル・パレス』

ダン・ブラウン：著 角川書店

全通信を傍受・解読できるNSAのスーパーコンピュータ「トランスレータ」が狙われる。対テロ対策として開発されたが、一般市民の通信全てをも監視可能なこのコンピュータの存在は決して公にできない国家機密であった。だが、この状況に憤った元スタッフが、自ら開発した「デジタル・フォートレス」という解読不可能な暗号ソフトを楯に、「トランスレータ」の公表を迫ったのだ。このソフトが流布されれば、アメリカは完全に無防備になってしまう…。

スリリングなストーリーの中で情報化時代のテロリズムを描き、個人のプライバシー vs 国家の安全という、まさに今日的な政治問題を掲げる。真のテロリストは誰なのか、真の自由の監視人は誰なのかを問うています。

現在公開中で様々な意味で話題になっている映画『ダヴィンチ・コード』の著者、ダン・ブラウンのデビュー作（1998年）です。

図書館へ行こう！

6月の新着本

児童書

◎ 盾（シールド）

著：村上龍 幻冬舎

仲良しだったコジマとキジマ、愛犬と共に野原を駆けめぐった少年の日々。やがて二人は別の道を歩むようになるが、決して忘れない言葉があった。幼いころ、森に住む老人に聞いた「盾、シールドが必要だ」という謎の言葉が意味するものとは一。

自分で自分を守るしかないのか、それとも…？不安と希望をあわせ持つすべての人に贈る、心温まる物語。



◎ ダヤンのフールスディ

著：池田あきこ ほるぷ出版

あたたかい春の夜、ふいに旅に出たくなったダヤンは、おべんとうにイワシのサンドイッチをつくって出かけることにしました。今日は3月31日、明日はイワンのたんじょうびです。鐘の音をあいずに、「イワン、おたんじょうびおめでとう！」ダヤンがいったとたん、「フールスディ、おめでとう！」と、パクリ、サンドイッチが消えてしまいました。驚くダヤンの前にあらわれたのは…？

◎ 空色の地図

作：梨屋アリエ 金の星社

ある日突然、中学三年の初音のもとに、差出人のわからない封書が届いた。中には、八歳の夏休みに、未来の自分に宛てて書いた手紙が入っていた。あれから六年。なぜ今になって届いたのだろう。

少女たちの揺れ動く心をみずみずしく描いた物語。



一般書

◎ 生きててもいい…？

著：野口美香 幻冬舎

血の繋がらない親と子が、本当の「家族」になれるのか？実の父の暴力によって、家族は崩壊。生後4カ月で天涯孤独に。

苛烈な人生を生き抜いてきた元里子が綴る、感動の真実。



◎ 柳生双剣士

著：芦辺拓 東京創元社

肥前佐賀鍋島藩の杜村新吾丸は、剣がたつうえに、風貌が柳生十兵衛に瓜二つ。杜村十兵衛元蔵と名乗っている一その報に、柳生宗矩が動き出す。そして、二人の十兵衛が巡りあったとき、事態は思わぬ方向へと進んでいく。若き日の柳生十兵衛が、兵法の理を極める過程で経験した、不思議な事件。

著者、自家薬籠中の柳生を主題にした長編剣豪小説。



◎ 夜の朝顔

著：豊島ミホ 集英社

なんにもない田舎で暮らす小学生センリ。でも気になることは山ほどある。クラスメイトとの微妙な距離感、となり町での発見、垣間みるオトナの事情…。 “明るい子ども” であるため、言葉にできなかった7つの思い。人生で一番長い6年。小学生センリが初めて知る、不安、痛み、憧れ、恋。

24歳の新鋭が、新しい発見に満ちた日々とほろ苦い成長の過程を、細やかに描き上げる。小学生を持つ保護者のみなさん必読です！

